

11月8日神戸女子短期大学の長瀬荘一教授に来ていただき  
カウンセリングマインド研修をしました。「生徒の学習意欲を引き出す  
その手掛かりは何か」というテーマで話をされました。



①生徒には対する基本姿勢②人を育てる環境としての言葉③やる気の公式に学ぶ④教育の対象を間違えない⑤スモールステップの原理を活かす⑥中高生は負荷をかけて伸ばすという柱建てで話をされましたので大変よくわかりました。特に印象的だったのは、言葉には3つの度く①速度(話の間)②温度(心の在り方が問われる温度感)③鮮度(教員としての勉強が問われる)とか教育の対象では①与えるのではなく自分で決定させる②させるのではなく呼びかける③評価するのではなく振り返らせる④突き放すのではなくともに考える⑤けなすのではなく認めるといった内容の話で、私たちにとって確認すべき内容でした。研修会参加した教職員はみな長瀬教授の思いを共有することができたと思います。



さて11月9日、10日はバドミントン男女の県大会(団体の部)があり、女子はベスト16、男子は準優勝という結果に終わりました。女子は1

回戦を接戦をものにして勝ち上がり、三田祥雲館との試合でも一進一退の攻防を繰り返し、ファイナルで惜しくも敗れてしまいました。男子は、初戦はかなりもたつく内容でしたが徐々に本領を発揮し予定通りの決勝にコマを進めたようです。しかしながら村野工業の厚い壁に跳ね返され、いずれも惜しい展開だったようですが悔しい結果となりました。今週末は滋賀県で行われる近畿大会に個人戦で挑みます。近畿のレベルを肌で感じてさらなる飛躍を遂げてほしいと思います。お疲れ様でした。

11月10日は兵庫県総合文化祭美術工芸部門の展示を見に行きました。本校は美術部員が少なく2点の出品で非常に描写の細かな作品で細部にわたり行き届いた仕上がりでした。全体的には大きなホールに数多くの高校の作品が展示され、見ごたえがありました。賞には届かなかったようですが、良い仕上がりでした。お疲れ様でした。



さらに午後からは男子バレー春高バレーの決勝を見に行きました。テレビ中継が入るというだけあって熱気お



んおんで観客席がコート横に設けられるなど雰囲気がいとも違うことに驚かされました。県総体と同じカードです。チャンスはあると思うのですが相手の高さが抜き出て

いたので、どう攻略するかが勝負でした。しかしながら良い流れになり切れずにじりじりと点差を開けられ、第1セットは食い下がったものの、第2、3セットは途中から引き離され、0-3で敗戦。ここの所悔しい準優勝が続いています。壁を破る何かを身につけなければと感じた試合でした。応援バスも出て、本校生と保護者が一体となった応援を繰り広げ、また卒業生も多数駆けつけてくれて応援してくれました。皆様の応援に感謝いたします。ありがとうございました。生徒の皆さんは、今回の敗戦をどう生かすか、しっかりと受け止めてさらなる飛躍を目指してください。皆さん、お疲れ様でした。

お知らせが遅くなっていましたが、兵庫教育大学から大学院生の山田詩乃さんが大学院での英語研究を進めるために4週間にわたり実習に来られています。主に教員の仕事と英語教育に関する研究をされているということで兵庫教育大学と提携を結んでいる本校に来られています。今日は担当の稲継先生と授業研究の



ための研究授業をされていたのでのぞかせていただきました。ハリーポッターの作者を題材に授業を展開され、久しぶりに英語の授業を聞いた私でも理解できる内容でしたが、わかりやすく文法的なことなど説明をされていました。「見る、聞く、書く、話す」の4技能が問われるようになるこれからの英語教育において必要なことや取り組まねばならないことは入試だけでなくグローバル化が進む社会においても必要になってきます。若い先生方からも情報を得ながら一緒に考えていきたいと思った授業でした。

今週末は柔道部が県新人大会に臨みます。バドミントン部は個人の近畿大会に臨みます。県総合文化祭も引き続き行われています。本校の活動に関心を持っていただき、ご支援のほどよろしく願いいたします。